



高峰博士の略歴

1854(嘉永7)年～1922(大正11)年

年	高峰博士の略歴	日本史抜粋
1854年	11月3日(新暦)、現在の富山県高岡市に生まれる。	ペリー再来航。日米和親条約(神奈川条約)締結
1855年	金沢(加賀藩)在住の父精一のもとに移る。	
1865年	加賀藩藩校明倫堂在学中長崎留學生に選ばれ長崎にて英語学習(大隈重信にも習う)。	第二次・長州征伐(翌年、薩長連合)
1868年	京都の兵学塾で化学や物理学を、また大阪の緒方塾でも学ぶ。	勝海舟と西郷隆盛、会談
1869年	大阪医学校、大阪舎密学校、七尾語学所に学ぶ。	戊辰戦争終結
1872年	工部省官費修技生となり、翌年開設された工学寮(後の工部大学校、現東京大学工学部)入寮。	新橋・横浜間に鉄道開通
1879年	工部大学校第1期生として応用化学科を首席卒業、翌年英国に留学。	
1883年	帰国後直ちに農商務省入省。工務局にて各種技術指導。	
1884年	米国ニューオーリンズ万国博に事務官として派遣され、1年間滞在。キャロライン嬢と婚約(30歳)。	この頃、鹿鳴館で盛んに舞踏会が催される
1886年	特許局次長兼任として高橋は清長官を助け、特許商標制度確立。	
1887年	渋沢栄一、益田孝らと協力して日本初の化学肥料会社「東京人造肥料」設立。同年、英国で「(麴による)酒精製造法特許」成立。8ヶ月間の自費海外出張で欧米の産業視察し、帰路、ニューオーリンズでキャロライン嬢と挙式。	伊藤博文首相、伊東巳代治、金子堅太郎などとともに神奈川県夏島で憲法起草開始
1890年	「(麴による)酒精製造法」特許が前年(1889年)米国で成立し、シカゴのウイスキー・トラストより招かれて妻子と共に渡米。	第1回衆議院議員総選挙
1894年	タカチアスターゼ関連の一連の特許成立。翌年パーク・デイヴィス社を通じて事業化、酵素事業の祖となる。	日清戦争勃発(～1895)
1899年	三共商店設立され、日本でタカチアスターゼ発売。工学博士号取得。	
1900年	アドレナリンの結晶化に成功(助手・上中啓三)、内分泌学と神経科学発展の端緒となる。	
1905年	セントルイス万博の日本館を閉幕後買い取り、ニューヨーク郊外のメリーウォルドに移築建設し、松楓殿と命名して日米親善に活用する。邦人のためニューヨークにニッポン・クラブを創設し、初代会長となる。長崎の致遠館の同窓生小村寿太郎を主席とする日露講和全権団をニューヨークで激励する。	日露戦争勃発(1904～1905)
1906年	薬学博士の学位取得。	
1907年	ジャパン・ソサエティー設立。副会長となる。	第三次日韓協約
1908年	高岡市坂下町の高岡高等学校で講演。	
1910年	豊田式自動織機の事業化で挫折した豊田佐吉を叱咤激励。	 ワシントン・ポトマック河畔の桜
1911年	ニューヨーク・ハドソン河畔に、国際親善の場となる邸宅完成(設計・内装は牧野克次)。	
1912年	ワシントン市などへの日本の桜寄贈に多大の尽力。	明治天皇崩御、大正天皇即位
1913年	在米のまま三共株式会社初代社長に就任。国民的化学研究所(理研)構想発表。	
1914年	世界初の酵素メーカーであるタカミネ・ラボラトリー設立。	第一次世界大戦勃発(～1918)
1917年	理化学研究所が創設される。東京に日米協会が設立される(初代会長 金子堅太郎)。	
1919年	北陸地方にアルミ産業を興す事を提唱。黒部川の電源開発に着手。	
1921年	ワシントン平和会議の日本代表団および渋沢栄一を団長とする経済視察団を、病床から抜け出して手伝い、倒れる。	
1922年	7月22日、67歳で逝去。ニューヨーク・ウッドローン墓地に埋葬される。同年10月東京帝国ホテルで追悼会。	ソビエト連邦成立

高峰譲吉博士 ゆかりのスポット



高岡信用金庫 「たかしん高峰記念館」

高峰公園の隣接地にあり、高峰博士の略歴や功績を紹介するパネルをはじめ、松楓殿の模型や博士直筆の手紙の複製などを展示しています。

●高岡市守山町68
TEL:0766-22-2425
開館時間/10:00～19:00(土・日・祝～16:00)
休館日/不定休 入館料/無料



高岡市立博物館 [国指定史跡・高岡城跡内]

博物館常設展内の高峰譲吉コーナーでは、タカチアスターゼ・アドレナリンをはじめ、高峰公園にある譲吉胸像の石膏原型、メガネ・ルーペなどの愛用品などを展示しています。

●高岡市古城1-5
TEL:0766-20-1572
開館時間/9:00～17:00
休館日/月曜(祝日は開館し翌平日)
入館料/無料



関西電力 「黒部川電気記念館」

黒部川電源開発の歴史や水力発電所を紹介する記念館。黒部川の電源開発は、高峰博士による「東洋アルミナム(株)」設立から始まりました。

●黒部市黒部峡谷口11
TEL:0765-62-1334
開館時間/夏期(4/18～11/30)7:30～18:00
冬期(12/1～4/17)9:00～16:00
休館日/冬期の火曜
入館料/無料

高岡市教育委員会(教育総務課)

〒933-8601 富山県高岡市広小路7-50 TEL 0766-20-1443

高岡商工会議所

〒933-8567 富山県高岡市丸の内1-40 高岡商工ビル4F TEL 0766-23-5000



高峰公園

高峰博士の生家跡地(高岡市御馬出町51)にあり、毎年11月3日に生誕祭が開催されます。生誕100周年を記念し建立された胸像の台座には、日本人初のノーベル賞受賞者・湯川秀樹博士による高峰博士をたたえる撰文が刻まれています。



金沢ふるさと偉人館

高峰博士など金沢ゆかりの偉人を紹介する施設。「日本化学遺産」認定の顕微鏡や遺品などを展示しています。

●石川県金沢市下本多町6-18-4
TEL:076-220-2474
開館時間/9:30～17:00
休館日/年末年始(12/29～1/3)
入館料/一般310円、65歳以上210円、高校生以下無料



黒部峡谷鉄道 宇奈月駅 2階 歴史探勝コーナー

高峰博士をはじめ、黒部の電源開発や地域発展に尽くした先人達の功績をたたえ、その試みの一端を紹介しています。

●黒部市黒部峡谷口11
TEL:0765-62-1014
休館日/12/1～4/19
入館料/無料

高峰譲吉博士

松楓殿

「松楓の間」再現展示



ニューヨーク州メリーウォルドパークに移築直後の松楓殿内「松楓の間」(1905年)



高岡に生まれた世界的化学者

高峰譲吉

高岡御馬出町の町医者・高峰家の11代目として1854(嘉永7)年に生まれ、少年期より金沢・長崎・京都・大阪などで学んだ高峰博士は、当初医学を志しますが、15歳のころに化学分析学を学んだことを機に、化学の道に進むことを決意します。

地道な研究を続け、食物を消化する酵素「タカチアスターゼ」の発明と、副腎髄質ホルモン「アドレナリン」の抽出に成功しました。



アドレナリン(日本での初期販売品)

高峰博士は偉大な化学者であるとともに、その語学力と行動力で企業を動かし、その発明、発見を製品化した事業家でもあります。

また、高峰博士は事業成功で得た富を、日米親善、民間外交のためにも、惜しみなく投じています。

ワシントンD.C. のポトマック河畔にある桜並木の植樹を企画し資金を提供したのは高峰博士であり、ニューヨーク市へも桜を寄贈しています。

高峰譲吉博士顕彰プロジェクト/高岡市・高岡商工会議所

高峰譲吉博士顕彰プロジェクト事業の主旨

わが郷土の偉人 高峰譲吉博士は、ノーベル賞級の発見をした化学者であり、数々の事業を起こしたベンチャービジネスの先駆者として、また、日米親善に尽力し無冠の大使と称賛された国際人として、幅広い分野で多大な貢献をしました。この郷土が誇る高峰譲吉博士の功績を、高岡から世界に発信しようという思いが一つになり、この高峰譲吉博士顕彰プロジェクトを推進することとなりました。

今回の高峰譲吉博士ゆかりの松楓殿「松楓の間」の再現展示を機に、今後とも広く国内外に博士の功績を発信するとともに、博士に続く世界に羽ばたく未来のサイエンティストやビジネスパーソンの育成支援にも取り組んでまいります。

皆様方の一層のご理解、ご支援を心からお願い申し上げます。



松楓殿(移設前)

松楓殿再現展示に寄せて

高峰譲吉は日本が世界に誇る偉大な人物です。タカチアスターゼやアドレナリンといった100年後の今日でも一般的に使われる薬の発明をしました。また、日本のインフラ整備にも貢献し、「特許庁」、「醸造研究所」、「理化学研究所」などの設立に深く関わっています。企業家としても複数会社を立ち上げ、いずれもが上場企業として今も進化し続けています。

さて、そんな高峰譲吉の「松楓殿」を初めて目の当たりにしたのは、もう25年以上も前になります。マンハッタンから車で二時間ほどのサリバン郡メリーウォルド・パーク。釘を一本も使わず、寝殿造りのような、平安神宮を思い出させるような建物で、そこかしこには菊の御紋章が見えました。ひと目見て、貴重な建造物であることを理解しましたが、土台、床等は腐ってボロボロの状態で、同時に修復が急務だと悟りました。

あの日から随分と経ちましたが、関係各位のご尽力のもと、ついに「松楓殿」は高峰譲吉の生まれ故郷・高岡へ戻ってくることができました。万感の思いです。

高峰譲吉が日本とアメリカをはじめ、世界中の人々の健康と幸福に寄与した功績は計り知れません。彼の功績が公正に評価され、みなさんに高峰譲吉のことを富山の誇りとして、日本の誇りとして知って頂く機会になるとともに、将来の世代が彼の足跡を学び、立派な企業家として羽ばたくことを願っています。

滝 富夫(松楓殿寄付者)
NPO法人 高峰譲吉博士研究会 副理事長

事業協力

滝 富夫(松楓殿寄付者)
NPO法人 高峰譲吉博士研究会 副理事長

NPO法人 高峰譲吉博士研究会

高岡信用金庫、高岡市立博物館、高峰譲吉博士顕彰会